

ビジネスコミュニケーション手法の改善(第10回)

【オフィス・店舗向け】回線速度は？サポートの手厚さは？業務用フレッツ光の選び方

2024.11.25

“一番使われている光回線”のビジネスプラン2種類は、何がどう違うのか？



「フレッツ光(FTTHアクセスサービス)」は、NTT西日本とNTT東日本が展開する光回線サービスです。現在オフィスや自宅で使用しているという人も多いでしょう。フレッツ光にはいくつかの特徴がありますが、その1つが、対応エリアが非常に広い点です。

フレッツ光のカバー率は、NTT西日本エリアでは93%、NTT東日本エリアでは95%と、ほとんどの地域で利用できます。フレッツ光のビジネス向けサービスの中に「フレッツ 光クロス オフィスタイプ」「フレッツ 光ネクスト オフィスタイプ」という2つのサービスが存在します。いずれもオフィスや店舗など、ビジネスシーンでの使用を想定したサービスで、NTT西日本／東日本が展開しています。

この2つのサービスにはどのような違いがあるのでしょうか？ 以下で、両サービスの特徴を紹介します。

**『法人向け光回線』をご検討の方に
おすすめ資料をご紹介します！**

資料ダウンロードはこちら >

フレッツ光の「クロス」「ネクスト」の最大の違いは回線速度

フレッツ 光クロス オフィスタイプ(以下、光クロス)も、フレッツ 光ネクスト オフィスタイプ(以下、光ネクスト)も、いずれもオフィス・店舗向けの業務用・法人向けアクセスサービスです。

両者の最も分かりやすい違いとしては、回線速度が挙げられます。光ネクストの場合、最大おおむね1Gbpsなのに対し、光クロスでは最大おおむね10Gbpsの通信が可能です※。そのため光クロスの方が、高速で安定性を追求したインターネットを利用できます。業務においてオンライン会議や動画の視聴、大きなファイルのやり取りなど大容量通信が想定される場合は、光クロスを選択するのがお薦めです。

なお光クロス、光ネクストはいずれも、次世代のIPアドレス「IPv6アドレス」によるインターネット接続にも対応しています。価格面では、基本的には光ネクストに軍配が上がりますが、光クロスも特定の割引キャンペーンを利用すると安価になる場合があります。検討の際には各種割引キャンペーンの有無を確認し、利用料金のシミュレーションをしてみましょう。

※技術規格上の最大値であり実効速度ではありません。

なお、最大おおむね10Gbpsでは

通信品質確保などに必要なデータが付与されるため、

実効速度の最大値は技術規格上の最大値より十数%程度低下します。

※インターネットご利用時の速度は、端末機器の仕様など

お客さまのご利用環境や回線の混雑状況などによって低下します。



24時間サポート対応が利用可能。夜間の出張修理も… 続きを読む